

※  内は、ロットNo.表示位置を示します。

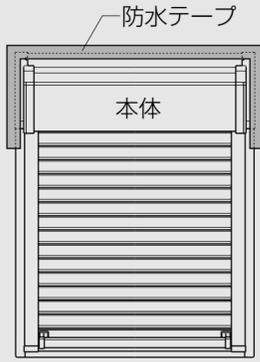
■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

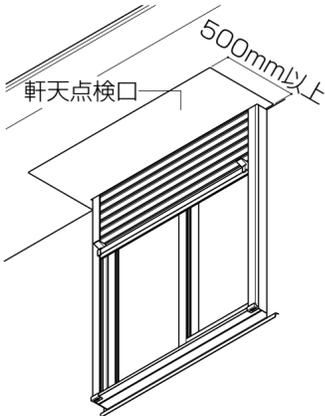
▲注意

- 本体の脱落や、変形による漏水・作動不良の防止のため、下記事項を厳守してください。
- 本製品は木造用です。躯体が木造であることを確認してください。
- 本体は必ず外壁仕上げ前に、直接構造体に取り付けてください。
- 必ず指定のねじで取り付けてください。
- 固定位置に躯体がない場合は、先に躯体を造作してください。ブラケットは必ず柱(構造体)に固定してください。
- ブラケット取付け面が平らであることを確認してください。
- ブラケットは、ガタのないよう固定してください。
- 本体がブラケットに掛かっていることを確認してください。
- 樹脂カバーが奥まで差し込まれていることを確認してからねじ止めしてください。
- 組立て・施工時及びスラットの横ずれを直す場合は、手袋をしてください。素手で行うとけがをするおそれがあります。
- 漏水防止のため下記事項を厳守してください。
- 本体取付け前に、サッシ枠のまわりに防水テープが張ってあることを確認してください。
- 本製品取付け後、本体と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。



■施工上のお願い

- 取付け前にサッシ枠の水平・垂直及び下枠上下の反りがないことを確認してください。取付け精度が悪いとシャッター作動不良や取付け不可の原因になりますので、かいもの等で調整してください。
- 本体取付けフィン、天板のへこみがないよう水糸等で確認して固定してください。シャッター作動不良の原因になります。
- 本製品を軒天内部に納める場合は、必ず軒天点検口を設け、点検口・ガイドレールが外部から外せる構造にしてください。メンテナンスができなくなります。
- 壁仕上げの際、点検口・ガイドレールを塗り込まないでください。メンテナンスができなくなります。
- モルタル施工の際、ガイドレール・下枠にモルタルを付着させないよう指導してください。
- モルタル剥離剤はアルミ表面を傷めるため、使用しないよう指導してください。
- サッシ枠の組立て・取付けについては「サッシ枠／組立て説明書」・「サッシ枠／取付け説明書」をご覧ください。



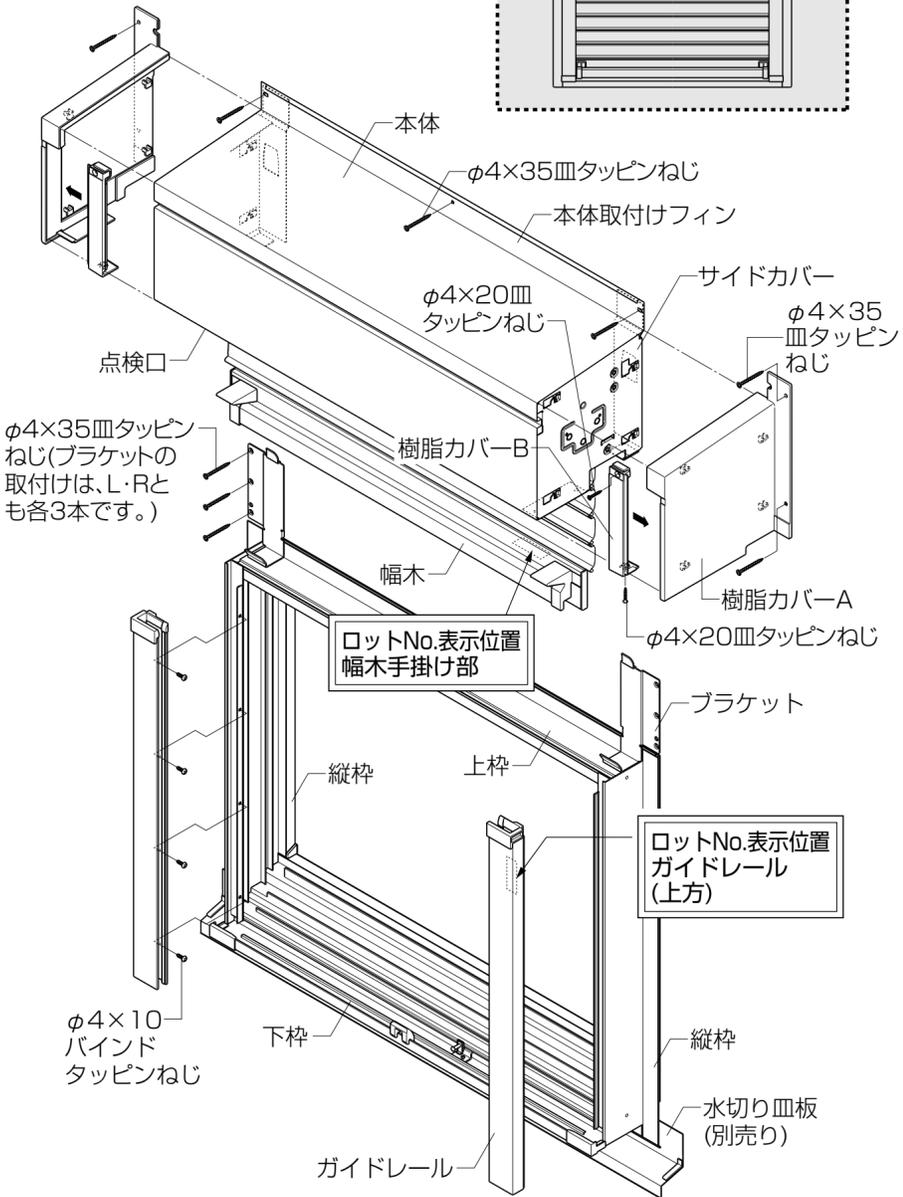
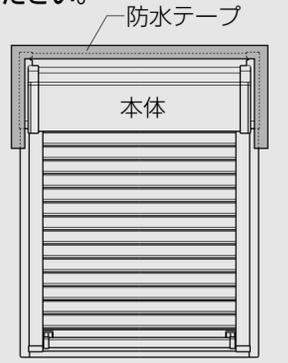
■構成図

●取付け部品・ねじ一覧表

ブラケット(L・R)	φ4×35皿タッピンねじ
(L)	
(R)	
	φ4×20皿タッピンねじ(2種)
	

▲注意

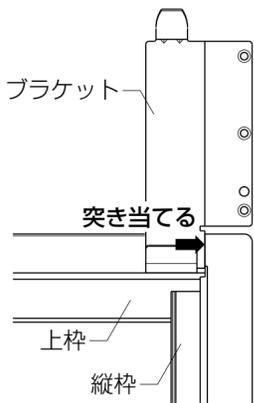
●本製品取付け後、本体と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。



■取付け順序

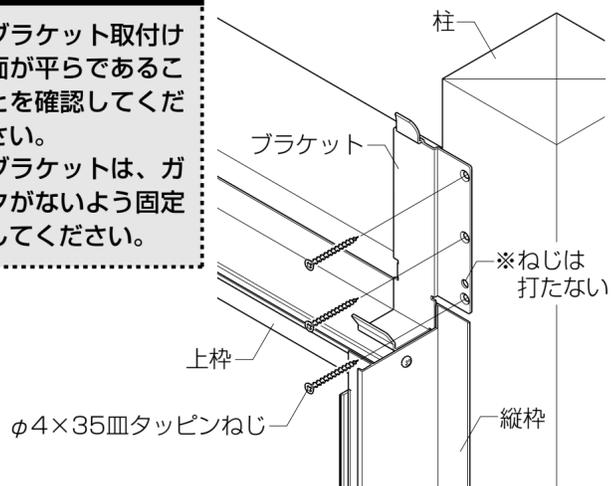
1 ブラケットの取付け

- ※ブラケットにはL・Rがありますので確認してください。
- ①ブラケットを上枠にのせ、縦枠に突き当てます。
- ②ブラケットを垂直にし、ねじ3本で固定します。(下から2番目の穴にはねじを打たないでください。)
- ※ブラケットは必ず垂直に取り付けてください。シャッターの作動不良や、本体が取付けられない原因になります。



▲注意

- ブラケット取付け面が平らであることを確認してください。
- ブラケットは、ガタがないよう固定してください。



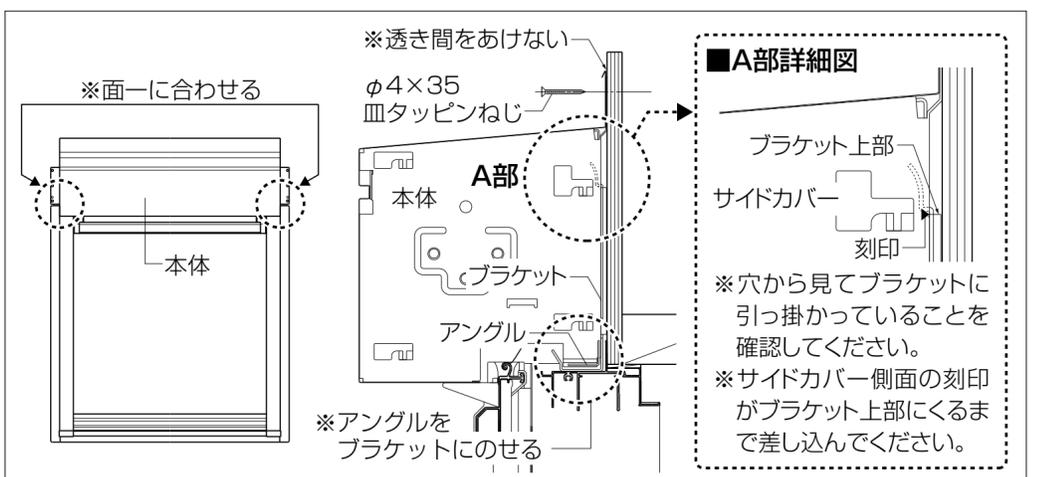
2 本体の取付け

- ※本体を立てたり、斜めにしたりしないでください。スラットが片寄り、作動不良の原因になります。
- ①本体を左右のブラケットに引っ掛け、アングルをブラケットにのせます。
- ※幅木が上枠より下にくるようにしてください。

▲注意

- 本体がブラケットに掛かっていることを確認してください。
- 樹脂カバーが奥まで差し込まれていることを確認してからねじ止めしてください。
- 組立て・施工時及びスラットの横ずれを直す場合は、手袋をしてください。

- ②縦枠と本体の左右を面一に合わせ、本体とブラケットとの間に透き間ができないよう固定します。
- ※本体の取付けフィンは、天板のへこみがないよう水糸等で確認し固定してください。

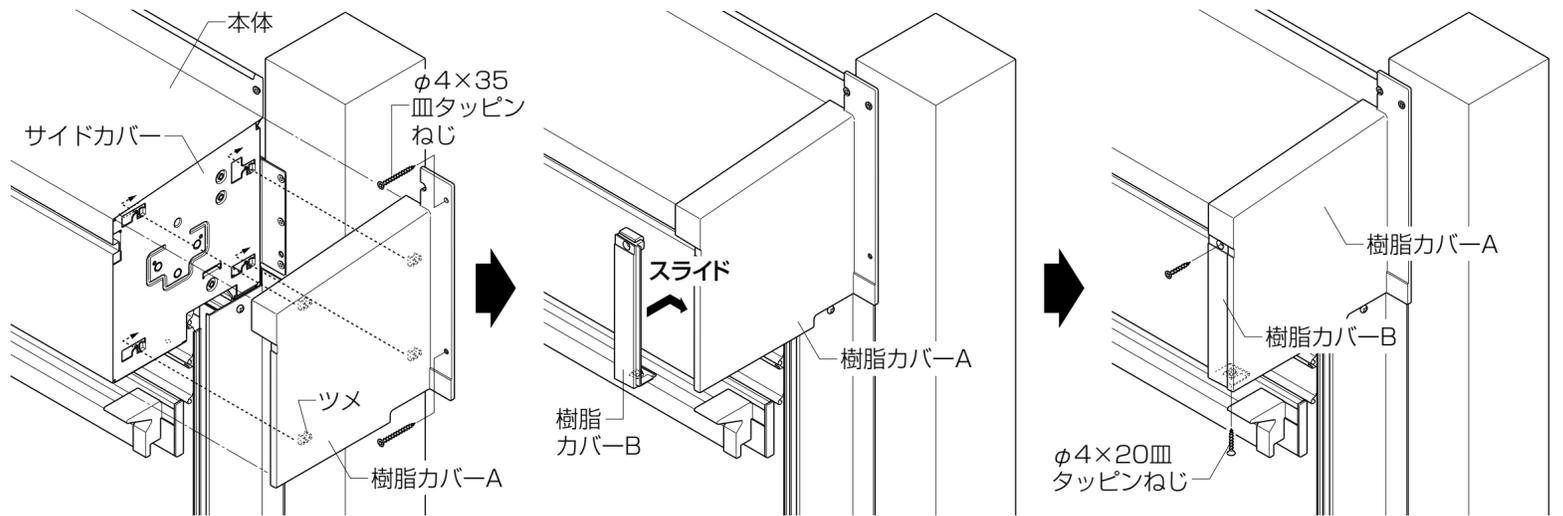


■A部詳細図

- 穴から見てブラケットに引っ掛かっていることを確認してください。
- サイドカバー側面の刻印がブラケット上部にくるまで差し込んでください。

■取付け順序

- ③樹脂カバーA裏面のツメがすべてサイドカバーの穴に合うことを確認した後、躯体側へスライドさせます。
- ④樹脂カバーAが奥まで差し込まれていることを確認し、ねじ止めします。
- ⑤樹脂カバーBを樹脂カバーAにはめ込んでねじ止めします。



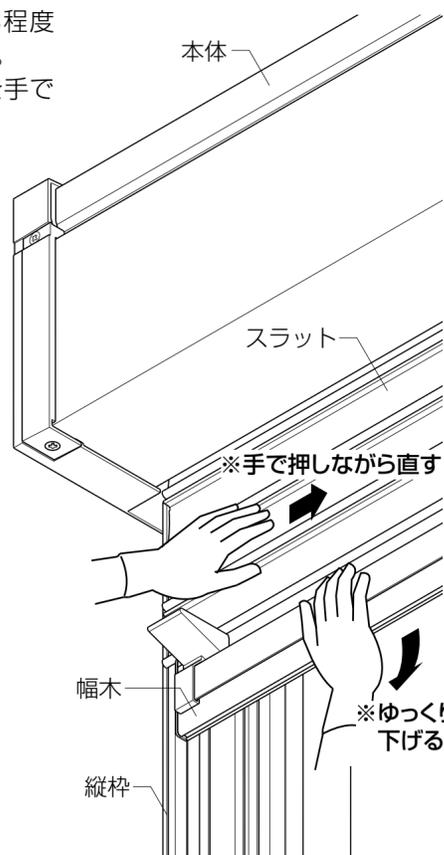
■3 スラットの横ずれ確認

- ①幅木の中央を持ち、開口の1/3程度までスラットをゆっくり下げます。
- ※横ずれがある場合は、スラットを手で押しながら直してください。

▲注意

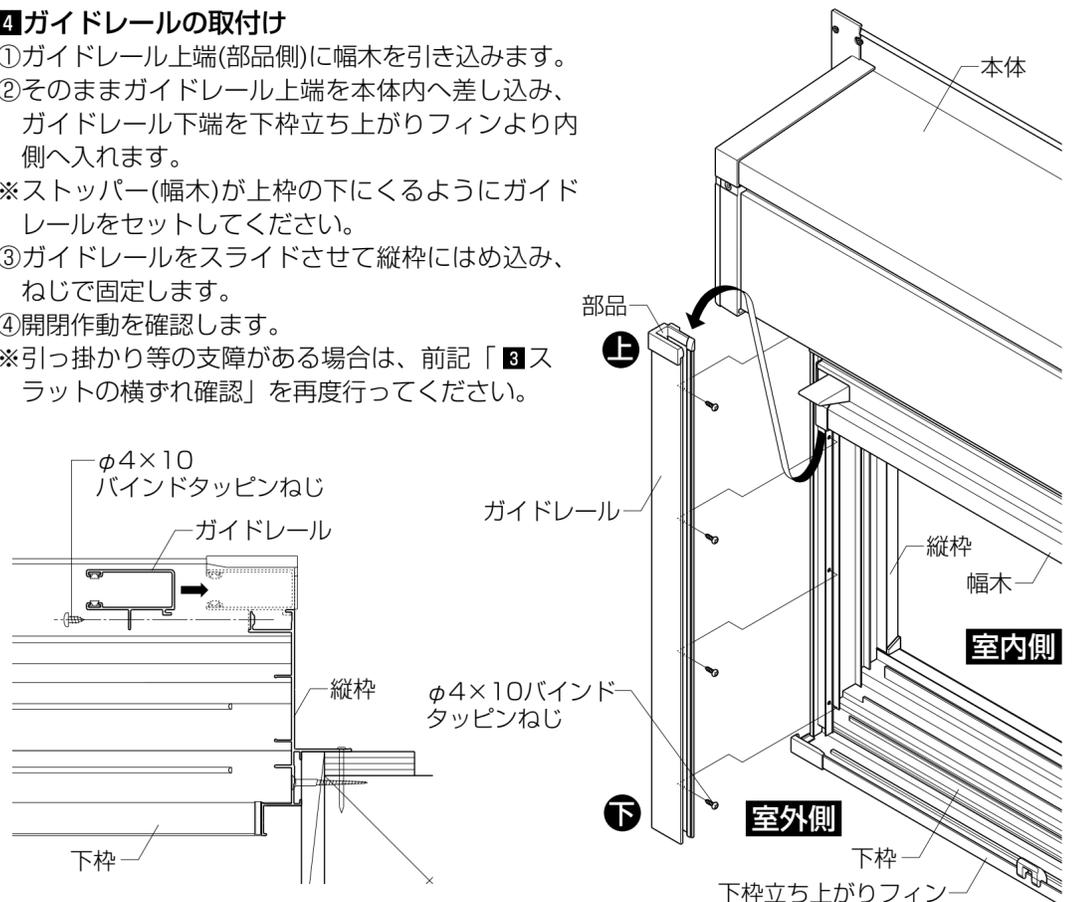
●スラットの横ずれを直す場合は、手袋をしてください。

- ※縦枠・本体にスラットが引っ掛からないようにしてください。
 ※幅木が本体の中に巻き込まれないようにしてください。
 ②スラットをゆっくり上げます。



■4 ガイドレールの取付け

- ①ガイドレール上端(部品側)に幅木を引き込みます。
 - ②そのままガイドレール上端を本体内へ差し込み、ガイドレール下端を下枠立ち上がりフィンより内側へ入れます。
 - ③ガイドレールをスライドさせて縦枠にはめ込み、ねじで固定します。
 - ④開閉動作を確認します。
- ※引っ掛かり等の支障がある場合は、前記「3 スラットの横ずれ確認」を再度行ってください。



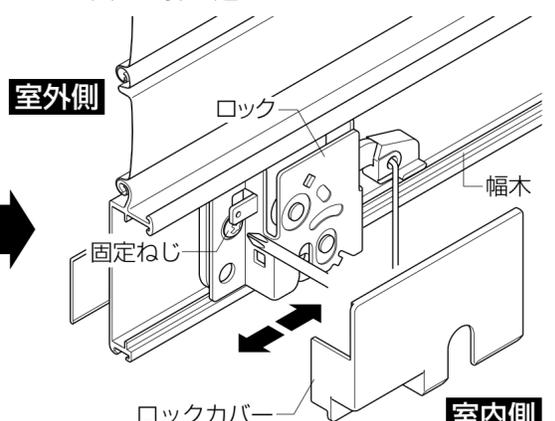
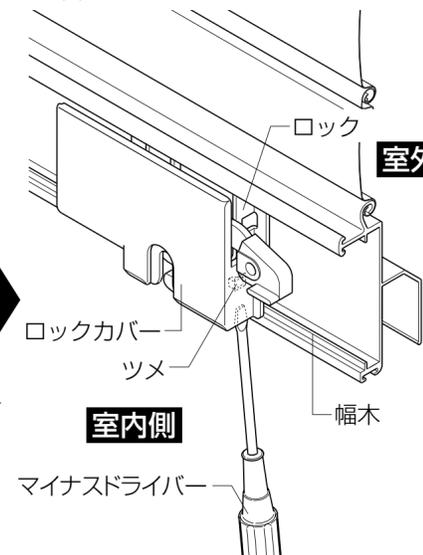
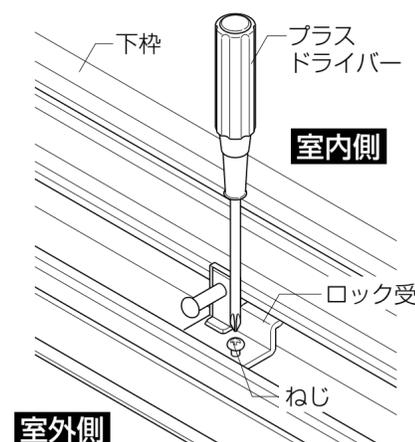
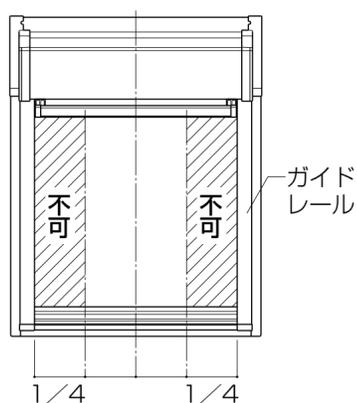
■5 ロック位置の調整方法

- ※使い勝手等のためにロックの位置を変更する場合は、以下の手順に従ってください。
- ※開口の1/4の距離よりもガイドレール寄りにロックを移動させないでください。幅木の端を持って開閉することにつながり、作動不良の原因になります。

- ①下枠についているロック受けのねじをゆるめてスライドさせ、ねじを締め直します。
- ※ロック受けのねじのあとが下枠についている場合は、補修ペイント(別途手配)で補修してください。

- ②幅木についているロックの下からマイナスドライバー等を差し込んでツメを外し、ロックカバーを取り外します。

- ③ロックの固定ねじをゆるめます。
- ④幅木を左右均等の位置にし、ロックを下枠のロック受けの位置へスライドさせて合わせ、仮止めします。
- ⑤数回ロックの施・解錠をくり返し、作動を確認します。
- ⑥ロックの固定ねじを締め付け、ロックカバーを正面から押し込みます。



■ロックの取付け方法

※ロックの位置を変更する際、ロックが幅木から外れた場合は、右記の手順で取り付け直してください。

